

**2018年12月期
第2四半期 決算説明資料**

株式会社 船場

証券コード: 6540

2018年8月29日

2018年12月期 第2四半期 決算説明資料

I. 企業概要 及び 事業概況

II. 第2四半期決算の状況 及び 今後の業績見通し

I

企業概要 及び 事業概況

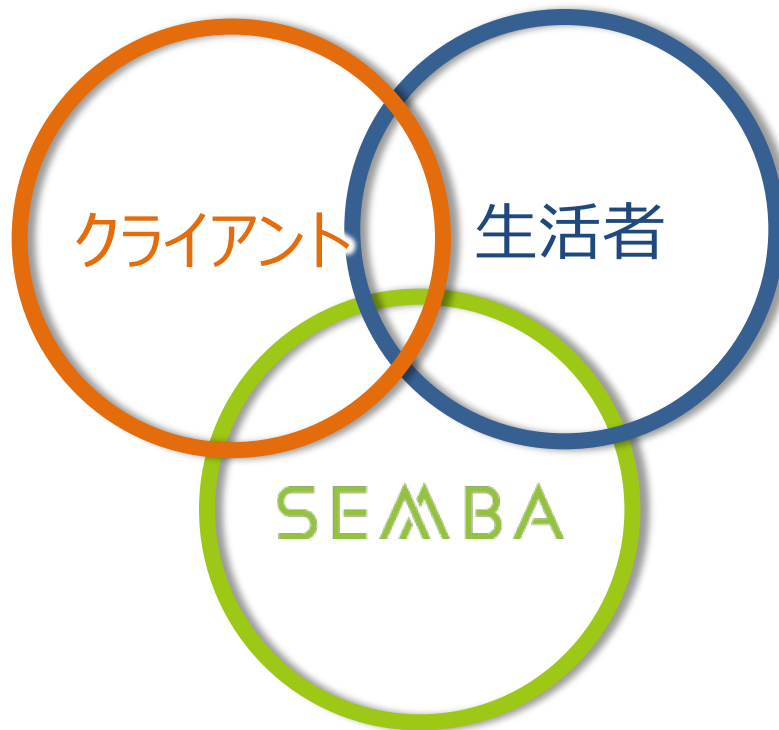
企業概要

サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて
社会の繁栄に貢献します。

クライアントの目指す「サクセス」を共有し、実現する

商環境の繁栄
KPIの実現



買い物の楽しさ
生活の充足感

SEMBA

真摯に、期待を超える。

どんなことにも正面から、
真っ直ぐに、
そして誠実に向き合っていく。

お客様からのご要望には、
期待を超える提案でお応えしていく。

『商環境』づくりをトータルにサポート 商業施設づくりで培われた「ソフト力」が価値の源泉



暮らしを豊かにする空間を
“具現化させる”

構想力

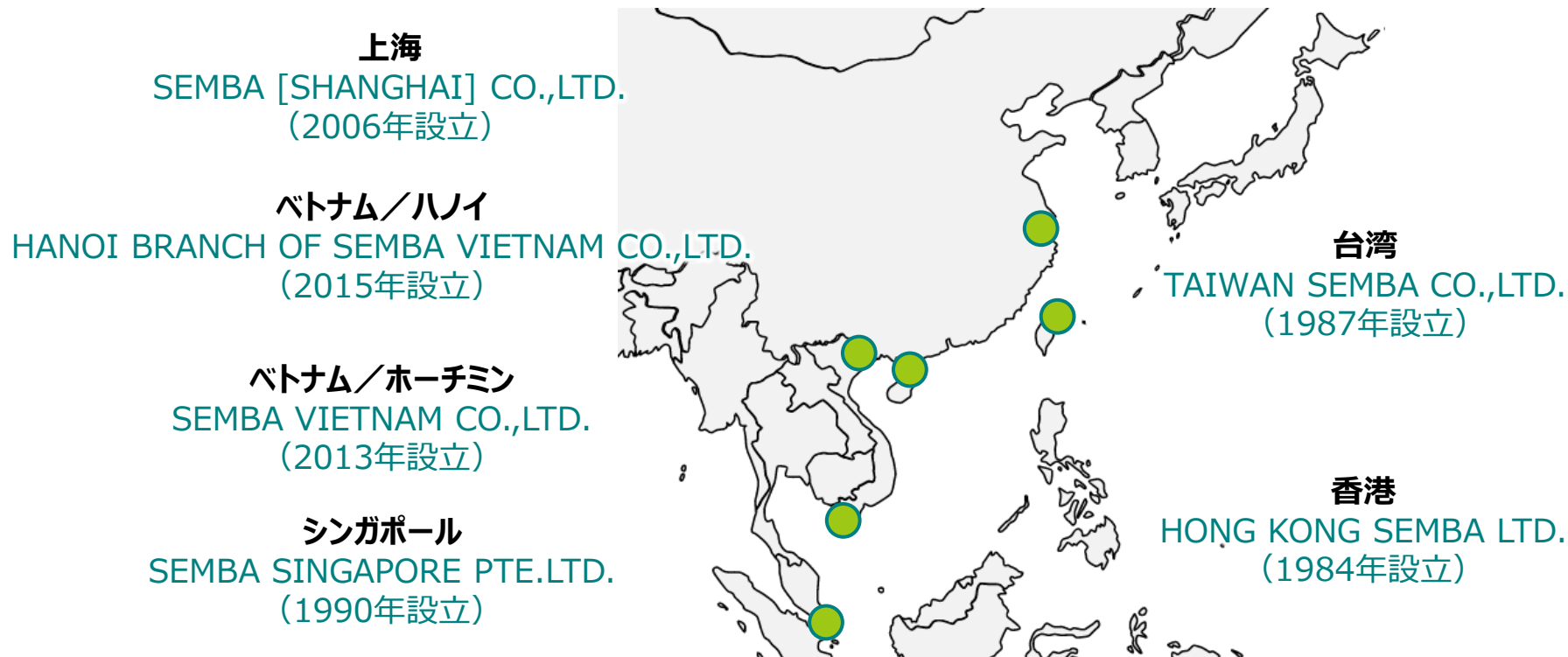
人・街・自然を
“親和させる”

設計力
(デザインワーク)

コストパフォーマンスに優れた品質を
“実現させる”

施工力

アジア全域に海外拠点を展開、グローバルに価値を共創



「商環境」創造力が発揮される事業領域は、増々拡大

「商環境」の領域は
国内外でさらに拡大



活躍する「創造」領域は
さらに多様化

第2四半期の事業概況

見込み案件の投資抑制や開業延期等の影響を受け、
商業分野における収益が減少

収益減少の主な要因

国内の従来顧客における投資抑制
(ナショナルチェーン展開の専門店、総合スーパーなど)

海外の受注予定案件における開業延期
(計画見直し、企画・設計等の業務減少など)

駅周辺を始めとする都市部の商業施設及び店舗、
商業以外の事業領域の受注は増加

受注増となった主な分野

駅前大型施設（再開発など）

都市中心部の店舗（百貨店、飲食店など）

サービス業種（アミューズメント、ブライダルなど）

教育分野（高校、大学など）

ヘルスケア分野（献血ルーム、スポーツクラブなど）

駅前大型施設（再開発など）



- ・ジョイナステラス二俣川
（相鉄二俣川駅・再開発複合施設）
- ・グランエミオ所沢
（西武所沢駅・駅直結複合施設）
- ・テラスモール湘南
（JR辻堂駅・SC / リニューアル）

ジョイナステラス二俣川：2018年4月オープン

など

都市中心部の店舗（百貨店、飲食店など）



Tim Ho Wan 日比谷：2018年4月オープン

- ・阪神梅田本店 1F食品売場
（建替えリニューアル）
- ・添好運（Tim Ho Wan）日比谷店
（香港点心 / 日本1号店）
- ・LUMINE AGRI MARCHE
（屋外マルシェ / JR新宿駅改札外）
など

サービス業種（アミューズメント、ブライダルなど）



- CONQUEST ジアウトレット広島
（カーショールーム）
- モーリーファンタジー 各店
（アミューズメント）
- ノートルダム大阪ONE
（ブライダル施設）
※2018年7月オープン

CONQUEST ジアウトレット広島：2018年4月オープン

など

教育分野（高校、大学など）



角川ドワンゴ学園N高等学校：2018年4月オープン

- ・角川ドワンゴ学園N高等学校
（横浜キャンパス他 / 通信制高校）
- ・大阪芸術大学 アートブックカフェ
- ・周南市立徳山駅前図書館

など

ヘルスケア分野（献血ルーム、スポーツクラブなど）



二俣川献血ルーム：2018年4月オープン

- ・二俣川献血ルーム
（建築を含む工事一式）
- ・エグザスなかもず
- ・イオンスポーツクラブ 各店

など

今後の取り組み

開業を迎える大型プロジェクトの収益が本格化
活況なフィールドへの取り組みを更に加速

国内及び海外の大型プロジェクトの業務推進

多様な領域への継続的な事業開拓

国内及び海外の大型プロジェクトの業務推進

2018年6月以降に納品を予定する主な大型物件

海外

台湾

複合商業施設

ショッピングセンター

ベトナム

ショッピングセンター

国内

総合スーパー

ショッピングセンター

ショッピングセンター

複合施設

百貨店

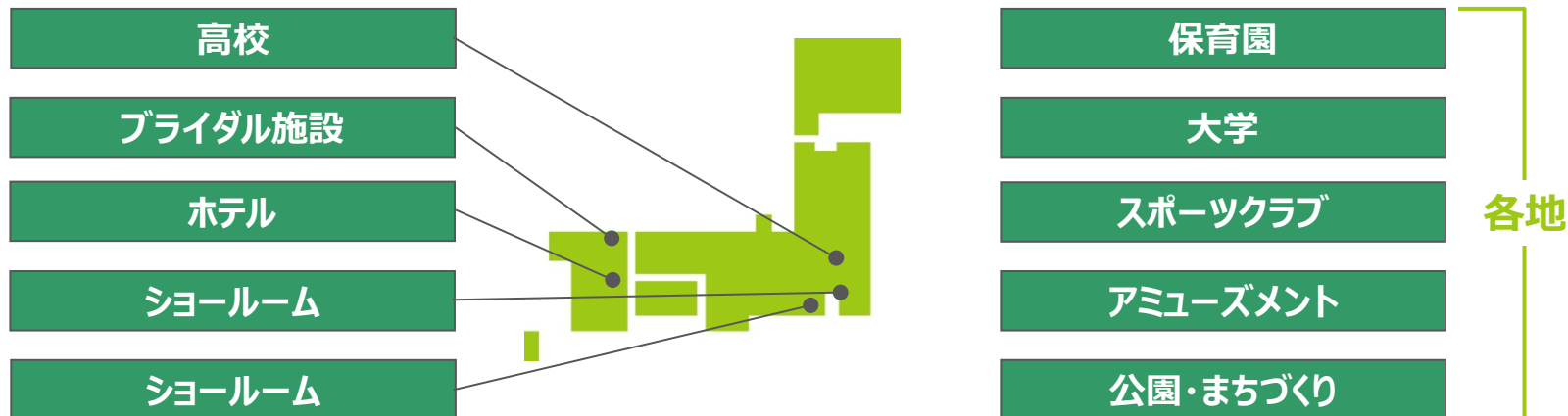
百貨店

ショッピングセンター

駅前複合施設

多様な領域への継続的な事業開拓

2018年6月以降に納品を予定する主な物件



2019年から始動する
新中期経営計画 を策定中

Ⅱ

第2四半期決算の状況 及び 業績見通し

第2四半期決算の状況

第2四半期決算の状況（損益計算書）

国内外の主要顧客における投資抑制や競争激化、
施工比率増加による売上総利益率悪化により、減収減益

(百万円)	2017年12月期 第2四半期累計		2018年12月期 第2四半期累計			
	実績	利益率	実績	利益率	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	14,803	-	14,040	-	▲ 763	▲ 5.2%
売上総利益	2,353	15.9%	2,201	15.7%	▲ 151	▲ 6.4%
販売費及び一般管理費	1,599	-	1,581	-	▲ 17	▲ 1.1%
営業利益	754	5.1%	620	4.4%	▲ 134	▲ 17.8%
経常利益	778	5.3%	658	4.7%	▲ 119	▲ 15.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	516	3.5%	405	2.9%	▲ 110	▲ 21.4%
1株当たり 当期純利益	52.48円		41.18円		▲ 11.30円	

【主な項目の増減要因】

売上高 ▲763

・都市部の開発プロジェクトや商業以外の分野では受注拡大するも、専門店分野では減少

売上総利益 ▲151

・売上高の減少により

売上総利益率 ▲0.2%

・国内外ともに、売上構成比率の変化に伴い、外注率の高い施工物件の増加

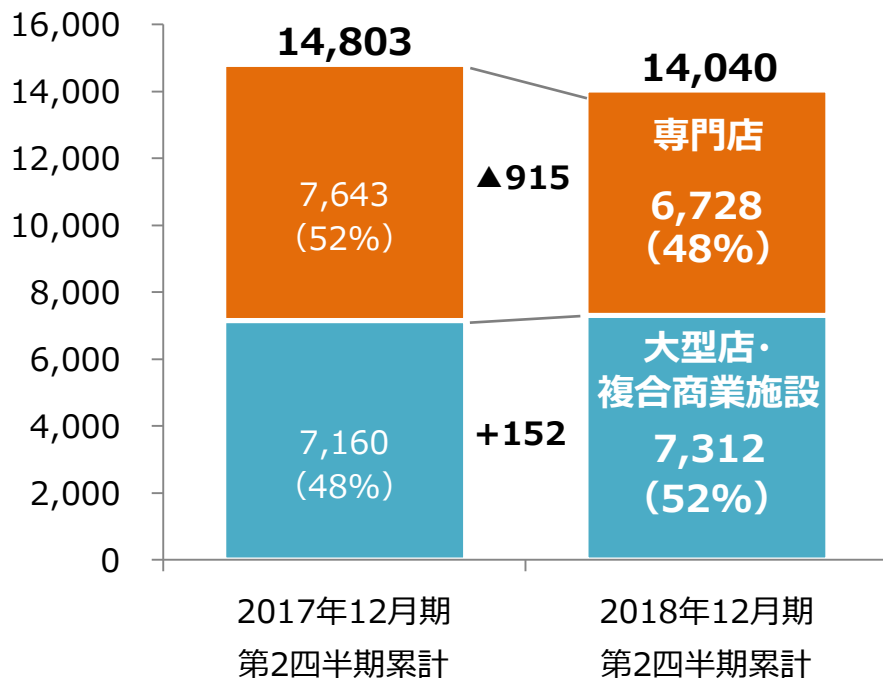
営業利益 ▲134

・売上高、売上総利益の減少により

専門店分野は物販を中心に投資抑制が進み、

大型店・複合商業施設分野では新設案件が減少し、全体として小型案件が増加

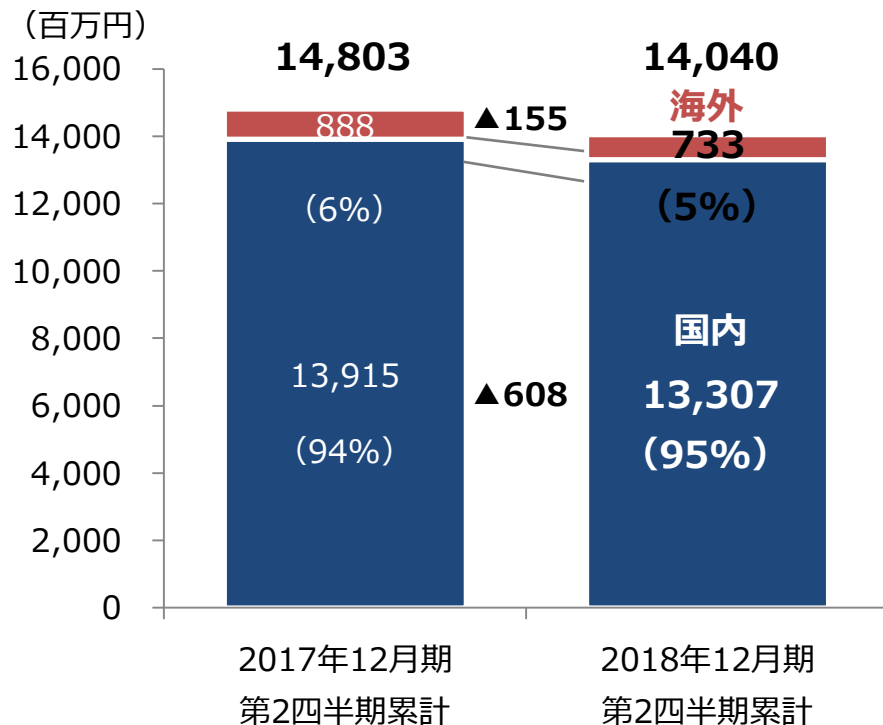
(百万円)



5千万円以上の物件数

	(件数)	2017年12月期 第2四半期累計	2018年12月期 第2四半期累計
専門店	物販	4	4
	飲食	6	4
	その他	7	8
	合計	17	16
大型店・複合	大手流通DV	9	12
	百貨店関連	1	2
	不動産DV	3	4
	大型専門店	4	4
	その他	1	3
	合計	18	25

海外売上は受注予定案件の開業延期等が影響し、当期は減少



海外法人別売上推移

(百万円)	2017年12月期 第2四半期累計	2018年12月期 第2四半期累計
香港	105	50
台湾	271	269
シンガポール	180	81
上海	273	227
ベトナム	20	53
その他	35	50
合計	888	733

ご参考)円換算レート

17年: HKD 14.45 / TWD 3.67 / SGD 80.01 / CNY 16.39 / VND 0.00493

18年: HKD 13.86 / TWD 3.70 / SGD 82.10 / CNY 17.05 / VND 0.00485

1. 当社グループにおける法人別売上高は主として所在地の施工物件を対象にしておりますが、顧客等の状況により近隣国の物件を対象にする場合があります。
2. その他には日本国内で手掛ける海外売上及び連結間取引修正等を含んでおります。

第2四半期決算の状況（貸借対照表）

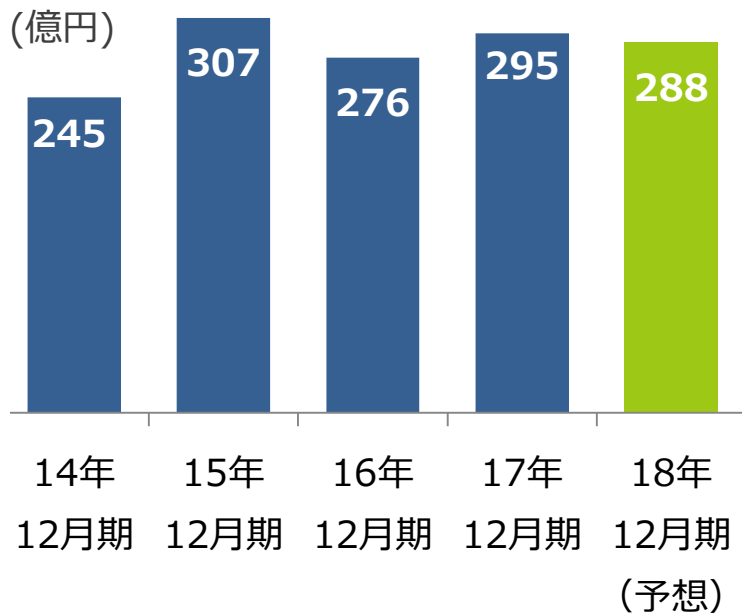
継続的な利益計上で流動資産が増加

	前連結会計年度 2017年12月期	当連結会計年度 2018年12月期 第2四半期	対前期比 差額	[主な項目の増減要因]
資産 (百万円)	17,581	18,153	572	流動資産 + 517
流動資産	15,324	15,842	517	・現預金増加 +146 ・売上債権増 +337
固定資産	2,256	2,311	54	
負債	8,222	8,819	597	流動負債 +697
流動負債	6,799	7,496	697	・買掛債務増加 +425 ・未払法人税等 +100 ・前受金 +136
固定負債	1,422	1,323	▲ 99	
純資産	9,359	9,333	▲ 25	純資産 △25
負債・純資産合計	17,581	18,153	572	・当期利益 +405 ・剰余金配当 ▲344

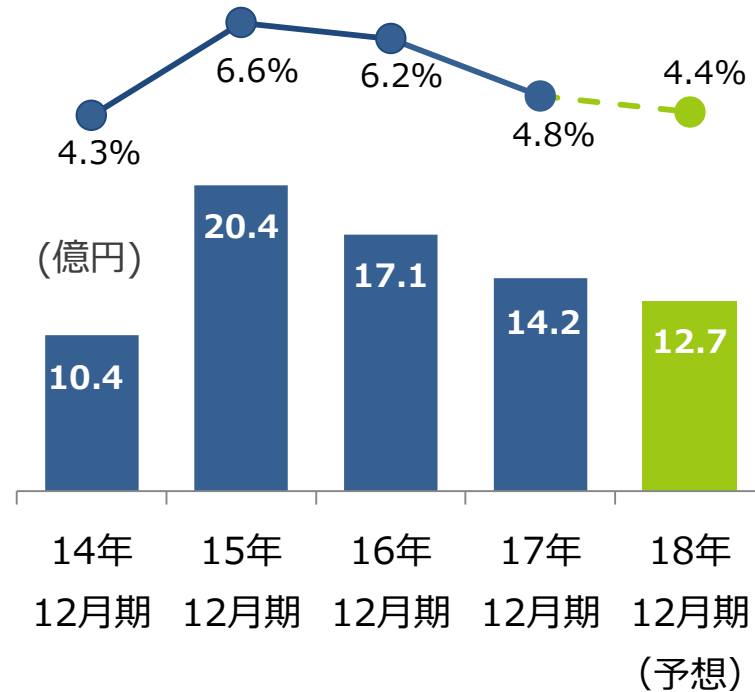
下期及び通期の業績見通し

業績動向を踏まえ、減収減益を見込む

【連結売上高】



【連結営業利益・連結営業利益率】



国内での多様な事業領域開拓や海外の大型プロジェクト実化により、
売上高及び営業利益は、前年下期と同水準を見込む

前期【2017年12月期】実績

(百万円)	上期	下期	通期
売上高	14,803	14,735	29,539
売上総利益	2,353	2,201	4,555
営業利益	754	668	1,422
親会社株主に帰属する当期純利益	516	475	991

[下期の見込み]

売上高見込み

- ・国内売上 131億円
- ・海外売上 16億円

利益率見込み

- ・売上総利益率 14.8%
(前年同期 14.9%)
- ・営業利益率 4.4%
(前年同期 4.5%)

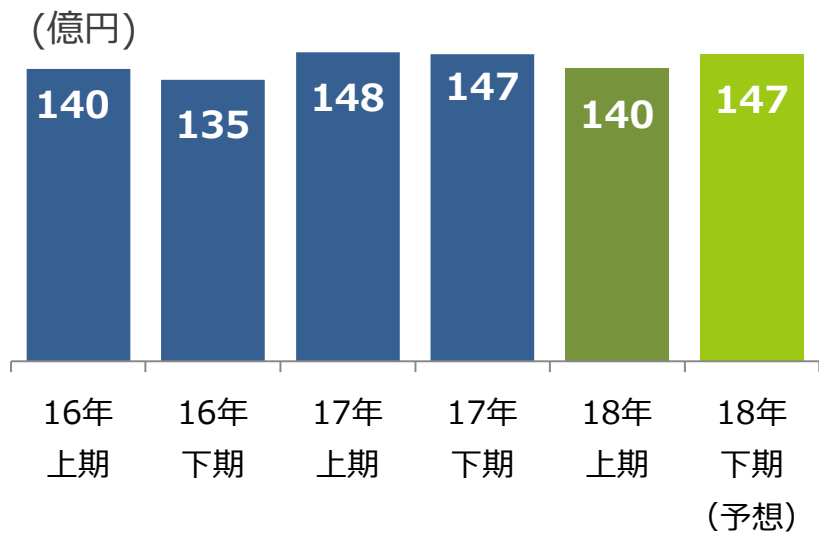
販管費見込み

- ・15.3億円見込み
(上期実績15.8億円)
(前年同期15.3億円)

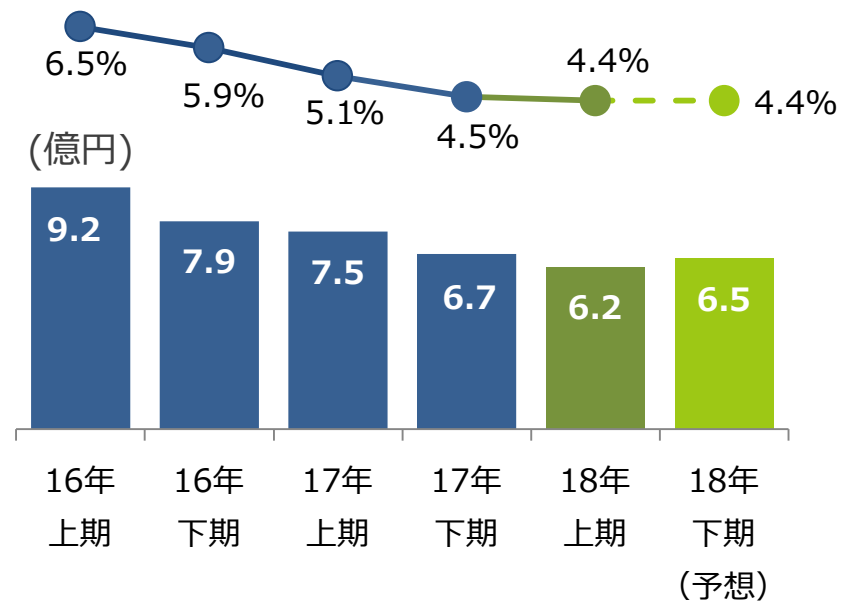
当期【2018年12月期】

(百万円)	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)
売上高	14,040	14,760	28,800
売上総利益	2,201	2,179	4,380
営業利益	620	650	1,270
親会社株主に帰属する当期純利益	405	395	800

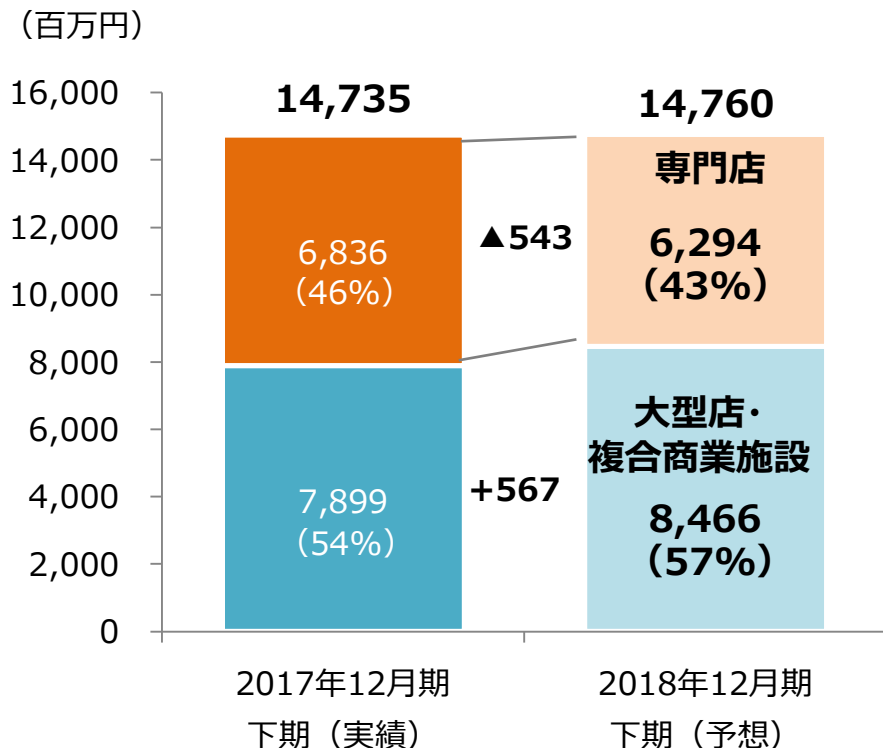
【連結売上高】



【連結営業利益・連結営業利益率】



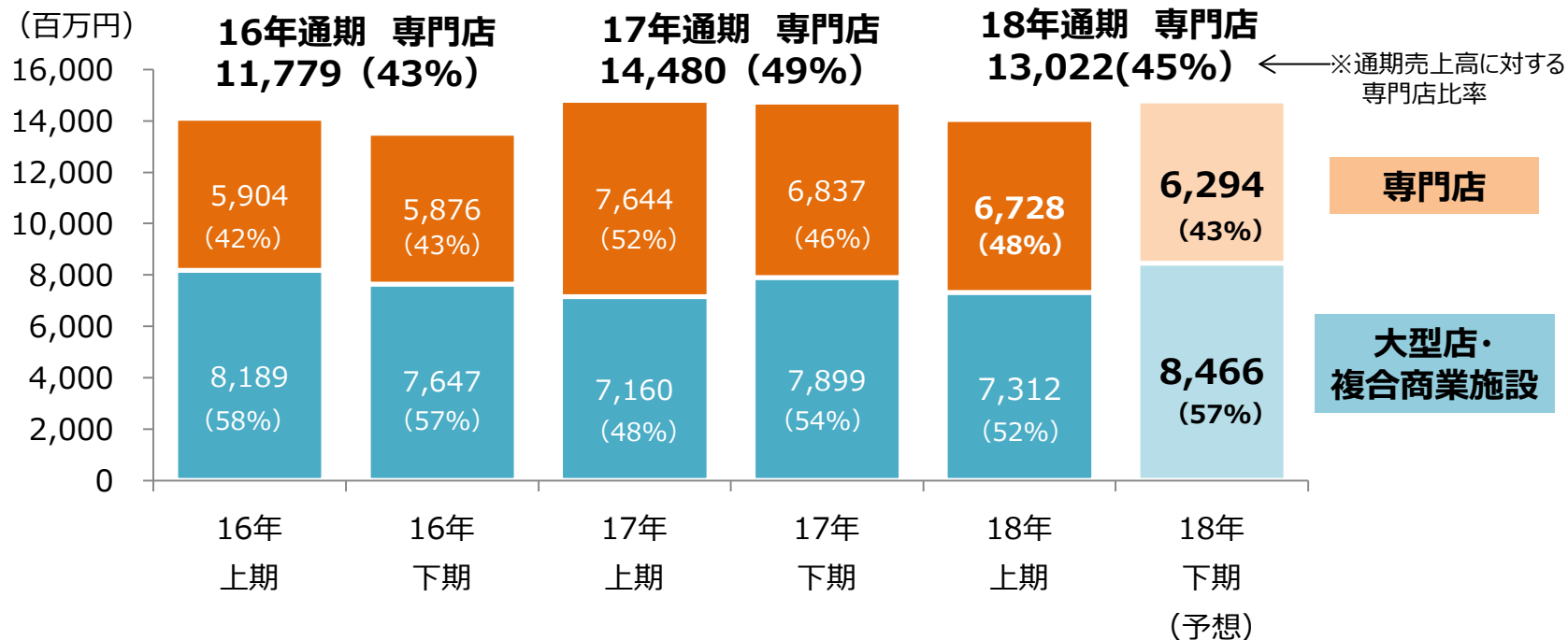
既存施設の大型改装案件等の獲得により、増収を見込む



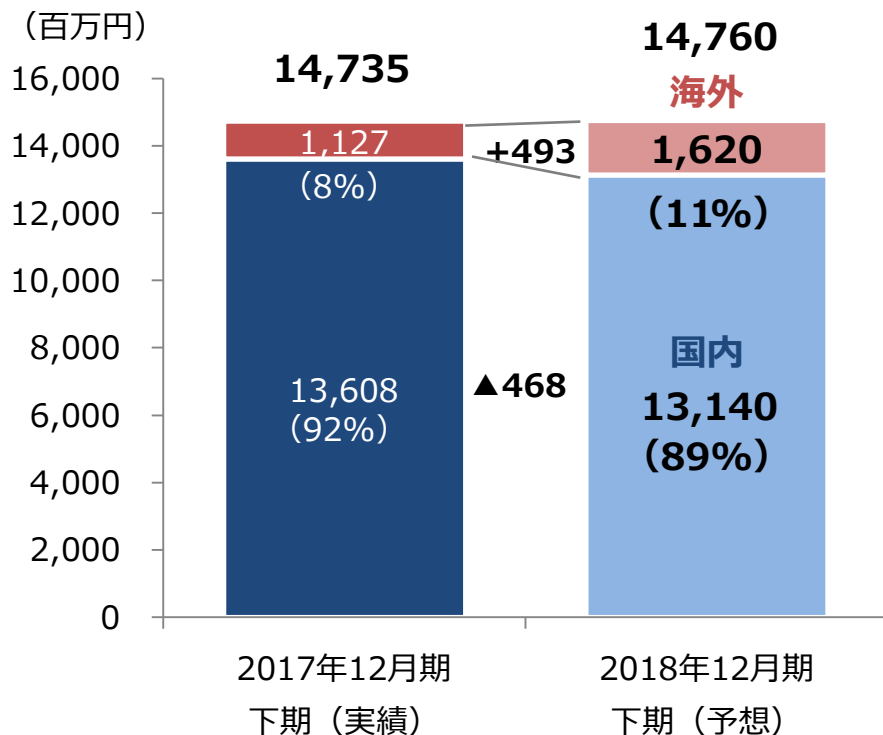
第2四半期末受注残高

(百万円)	17年12月期 第2四半期末	18年12月期 第2四半期末	対前年同期比 増減率
	専門店	1,457	
大型店・ 複合商業施設	3,338	2,683	▲19.6%
合計	4,796	4,238	▲11.6%

専門店の市場は上期に引き続き、厳しい見通し
 大型店の新規顧客獲得により収益の安定を図る



海外大型プロジェクトの収益化が進み、増加に転じる見込み



海外法人別売上推移

(百万円)	17年12月期 下期 (実績)	18年12月期 下期 (予想)
香港	137	93
台湾	245	510
シンガポール	197	193
上海	459	650
ベトナム	63	141
その他	22	31
合計	1,127	1,620

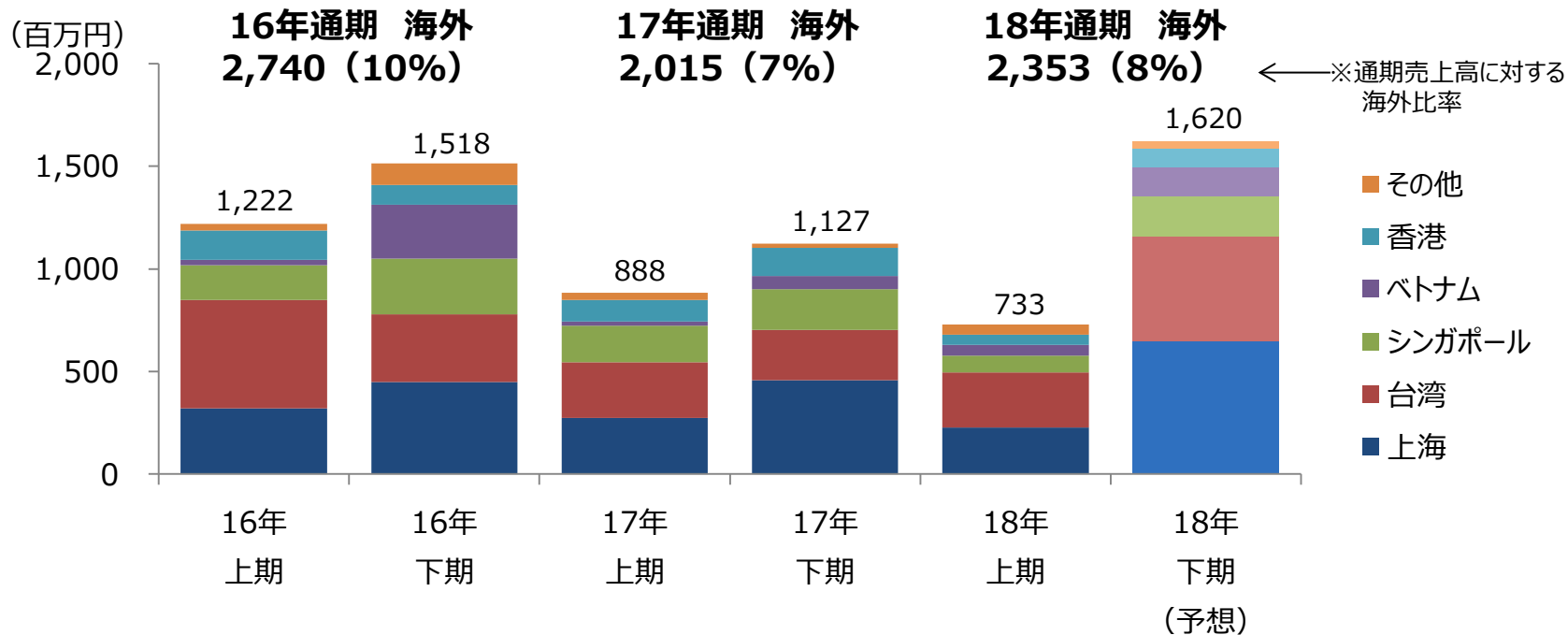
ご参考)円換算レート

17年: HKD 14.39/TWD 3.69/SGD 81.26/CNY 16.62/VND 0.00493

18年: HKD 14.00/TWD 3.50/SGD 85.00/CNY 17.00/VND 0.00520

1. 当社グループにおける法人別売上高は主として所在地の施工物件を対象にしておりますが、顧客等の状況により近隣国の物件を対象にする場合があります。
2. その他には日本国内で手掛ける海外売上及び連結間取引修正等を含んでおります。

海外の売上高は、プロジェクト集中による下期偏重を見込む



株主還元を重要な経営目標と位置づけ、
投資計画や損益状況、及び配当性向を勘案しながら検討してまいります

配当実績と計画	2016年 12月期（実績）	2017年 12月期（実績）	2018年 12月期（予想）
1株当たり年間配当	26.0円	35.0円	40.0円
配当性向	20.9%	34.8%	49.3%

（注）当社は2016年10月5日付で、株式1株につき50株の株式分割を行っております。

上記では、2015年12月期の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算出しております。

サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて
社会の繁栄に貢献します。

【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画室

T E L : 03-6865-8195

E-mail : ir@semba1008.co.jp